

国立精神・神経センター国府台病院

1. 学会の会員構成等

児童精神科医師3名（常勤）
同 4名（併任）
同 2名（非常勤）
レジデント医師8名

（平成17年4月1日現在）

(1) 一般の小児科医・精神科医 0人
(2) 子どもの心の診療を定期的に行っている小児科医・精神科医 11人
(3) 子どもの心の診療に専門的に携わる医師 6人

2. 対象疾患領域等

- ・各種不安障害、あるいは不登校、ひきこもりなどの非社会的問題行動
- ・強迫性障害、転換性障害、解離性障害など神経症水準ないし境界水準の疾患
- ・発達障害（広汎性発達障害、AD/HDなど）
- ・統合失調症や双極性気分障害など児童・思春期の精神病性疾患
- ・反抗挑戦性障害ないし行為障害的な特徴を持つ症例
- ・何らかの形の虐待を受けた子どもの症例

3. これまでの取り組み

国立精神・神経センター国府台病院レジデント教育プログラム

平成15年度の年間受講者： 10人
平成16年度の年間受講者： 10人
平成17年度の年間受講者： 11人

第一コース：臨床研修医2年間の修了者で児童精神科研修を希望する者

平成15年度の年間受講者： 0人
平成16年度の年間受講者： 0人
平成17年度の年間受講者： 0人

第二コース：精神科医としてすでに2年以上の他院での専門研修を経た者

平成15年度の年間受講者： 3人
平成16年度の年間受講者： 4人
平成17年度の年間受講者： 5人

第三コース：小児科医としてすでに2年以上の他院での専門研修を経た者

平成15年度の年間受講者： 3人
平成16年度の年間受講者： 3人
平成17年度の年間受講者： 4人

4. 今後の取り組み

○平成18年度の計画

- ・症例検討の充実
レジデント医師が主治医としてかかわった症例を中心に、
①看護師や心理職など関与した他職種を含む症例検討
②プレイセラピーなど個人精神療法に関与した際のスーパービジョン

③主治医として関与した症例の一部に対する連続的スーパービジョン（指導医による）

④家族療法に関与した際の症例検討の四種類の症例検討を指導医（常勤医）によって行う。

- ・ 関連学会での演題発表への積極的取り組み
- ・ 他機関との合同症例検討
 国立成育医療センター
 千葉県内の児童精神科医療に関与する機関による研究会

○平成19年度の計画

- ・ 他機関との合同症例検討の発展
- ・ 抄読会の充実
- ・ 症例検討の充実
- ・ レジデントへの児童精神医学系統講義を企画・試行
 当面は常勤の指導医4名による講義。（主として齊藤委員）
 その後、本格実施にあたっては可能ならば外部講師も組み込むことを検討中。
 内容：児童思春期精神医学及び医療の全般に関するもの
 1回あたり90分で年20～25回を検討中。
- ・ 「関連学会での演題発表への積極的取り組み

○平成20年度の計画

- ・ レジデントへの児童精神医学系統講義の本格実施
- ・ 各種症例検討のさらなる充実を図る
- ・ レジデント研修枠の拡充
- ・ 他機関との合同症例検討の発展
- ・ 関連学会での演題発表への積極的取り組み

○平成21年度の計画

- ・ レジデントへの児童精神医学系統講義の本格実施
- ・ 各種症例検討のさらなる充実を図る
- ・ 他機関の専門家対象の短期・中期研修会の企画・試行
- ・ 他機関との合同症例検討の発展
- ・ 関連学会での演題発表への積極的取り組み

○平成22年度の計画

- ・ レジデントへの児童精神医学系統講義の本格実施
- ・ 各種症例検討のさらなる充実を図る
- ・ 他機関の専門家対象の短期・中期研修会の企画・試行
- ・ 他機関との合同症例検討の発展
- ・ 関連学会での演題発表への積極的取り組み